

平成 29 年 11 月 10 日

配水用ポリエチレンパイプシステム協会

水道配水用ポリエチレン管 通水（水圧）試験までの放置時間短縮について

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて掲題の件、下記の通りご報告いたします。
何卒ご査収の上、御高配の程よろしくお願い致します。

敬具

記

水道配水用ポリエチレン管の施工後に実施頂く通水（水圧）試験について、従来は通水試験実施までの放置時間を表 1 の通り規定していましたが、会員メーカーによる評価の結果、表 2 の通り呼び径 50、75 及び 150 の 3 サイズについて時間短縮が可能となりました。

<現 行>

表 1 通水試験実施までの放置時間（従来）

| 呼び径 | 50 | 75 | 100 | 150 | 200 |
|---------|----|----|-----|-----|-----|
| 放置時間（分） | 30 | | | 60 | |

<変更後>

表 2 通水試験実施までの放置時間（変更後）

| 呼び径 | 50 | 75 | 100 | 150 | 200 |
|---------|-----------|----|-----|-----------|-----|
| 放置時間（分） | <u>20</u> | | 30 | <u>45</u> | 60 |

（注意事項）

上記時間は、最後の E F 接合が完了しクランプが外せる状態になった後の放置時間を示します。

※施工マニュアルへの掲載は平成 30 年 4 月頃の予定です。

当協会では、今後も水道配水用ポリエチレン管に関する様々な施工技術開発や施工効率向上（時間短縮、他）に取り組んで参ります。

以上